

活動を通して体験する

ういず

今年度から、ういずでは中学生のお子さんの活動場所として、主に陽光園やG.O.D J.O.Bの一室を借りて同年代同士の関わりを意識しながら活動を行ってきました。特に夏休みは、普段よりも、ういずで活動する時間が長いいため、より同年代での関わりもより深くなりました。

今まで、ほとんど会話をしなかったお子さん同士が、何気ないことがきっかけで会話が生まれ、楽しそうに談笑する様子も見られました。

中学生になってお子さん達それぞれが大変だったことは夏休みの

宿題の量の多さでした。お子さんによっては、その日に自分で取り組む内容を決めたり、一週間毎に行う宿題の計画を職員と一緒に立てたりと、自分のペースに合わせて頑張っていました。

また、夏休みの活動はお子さん達と職員で相談して計画を立てるというも行いました。

自分達で活動内容を相談して決めてみようかと伝えると、始めは戸惑った表情を見せていましたが、今までにやったことのある活動を思い出して「お菓子作りをしたい」「○○に行きたい」と自分から色々な意見

を出してくれました。自分たちで計画して「できた、楽しかった」経験を重ねていくことが、次の学びに繋がっていくことを感じました。

小学生のお子さん達は、冷やし中華やおやつ作りを行いました。

冷やし中華作りでは、前にも何度か行っている活動なので、作り方を見ながら、慣れた手付きで作るお子さんが多く、また、初めて作るお子さんには、他のお子さんが声を掛け、教えていることもありました。



おやつ作りでは、用意した作り方を声に出し

て読みながらパフェを作りました。



また、パンを買いにふらつくにも行きました。

好きなパンを自分で選んで買って、おいしく食べるという経験は、お子さん達が好きな活動の一つです。真剣な表情でパンを選んで、自分でお金を払います。みんな揃って食べ始めると、「おいしいね」と言いながら、楽しそうに話をしていました。帰り道では「私が食べた美味しかったよ、また行こうよ。」

「次にパン買いに行くのは、冬休み？」と待ちきれない様子のお子さ

んもいました。

このように、ういずではお子さんそれぞれの学年に合った活動を意識して、毎日のスケジュールや、季節事に楽しめる活動を計画しています。うれしそうなお子さん達の笑顔を見る時、計画してよかったと思う瞬間です。

これからも、活動を通してさまざまな体験を重ね、お子さんも職員も成長し続ける「ういず」を目指していきたいと思えます。



保育士
勤続6年 赤坂 知美